令和元年　医師会立

助産師･看護師･准看護師学校養成所調査

令和元年8月6日

公益社団法人　日本医師会

目　次

調査概要…… 1

令和元年　調査結果の概要
〈1〉　令和元年度入学状況…… 2
〈2〉　平成30年度卒業状況…… 6

入学・卒業状況の経年変化
Ⅰ　学校数の推移…… 8
Ⅱ　入学状況の推移…… 9
Ⅲ　倍率の推移…… 13
Ⅳ　入学率の推移…… 14
Ⅴ　定員充足率の推移…… 15
Ⅵ　男子生徒率の推移…… 16
Ⅶ　医療機関就労生徒率の推移…… 17
Ⅷ　最終学歴の推移…… 18
Ⅸ　卒業後の進路…… 21
Ⅹ　卒業後進路の推移…… 22
ⅩⅠ　医師会からの繰入金の有無…… 26
ⅩⅡ　医師会からの繰入金…… 27
ⅩⅢ　医師会からの繰入金…… 28
まとめ …… 32

参考　看護系大学、看護師・准看護師養成所の入学状況の推移

調査概要

調査目的

医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況の実態把握

調査概要

調査方法	質問紙郵送法
調査対象	医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所
調査地域	全国
有効サンプル数	333校 (*各年毎に入学者もしくは卒業者のあった学校養成所を調査対象としている)
調査実施時期	平成31年4月
調査内容	医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況及び運営状況等

学校養成所数(課程数)

○准看護師課程		170 校		
	*令和元年度募集停止	6 校		
	*平成31年3月閉校	6 校	計	182 校
○看護師2年課程		70 校		
	*令和元年度募集停止	1 校		
	*平成31年3月閉校	3 校	計	74 校
○看護師3年課程		71 校	(うち、2019年4月新設 2 校)	
	*令和元年度募集停止	1 校		
	*平成31年3月閉校	0 校	計	72 校
○助産師課程		5 校		
	*令和元年度募集停止	0 校		
	*平成31年3月閉校	0 校	計	5 校

令和元年　調査結果の概要

<1>令和元年度入学状況

1. 各項目の総数

（人）

	定員	応募者	受験者	合格者	入学者
准看護師課程	7,927	9,557	9,089	6,920	6,226
（うち男子）		(1,934)	(1,842)	(1,307)	(1,177)
看護師2年課程	3,001	3,015	2,958	2,638	2,450
（うち男子）		(690)	(669)	(575)	(535)
看護師3年課程	3,798	8,889	8,391	4,612	3,599
（うち男子）		(1,306)	(1,235)	(508)	(408)
助産師課程	109	315	303	98	91

（人）

	入学者の最終学歴						医療機関就労生徒
	中卒	高校中退	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	
准看護師課程	486	323	1,755	3,062	440	483	2,916
（うち男子）	(46)	(36)	(377)	(558)	(24)	(172)	－
入学者に占める割合	7.8%	5.2%	28.2%	49.2%	7.1%	7.8%	46.8%
看護師2年課程	23	10	131	1,940	139	206	－
（うち男子）	(4)	(2)	(16)	(404)	(18)	(93)	－
入学者に占める割合	0.9%	0.4%	5.3%	79.2%	5.7%	8.4%	－
看護師3年課程	0	0	2,695	620	89	195	－
（うち男子）	(0)	(0)	(274)	(94)	(5)	(35)	－
入学者に占める割合	0.0%	0.0%	74.9%	17.2%	2.5%	5.4%	－
助産師課程	0	0	1	61	3	26	－
入学者に占める割合	0.0%	0.0%	1.1%	67.0%	3.3%	28.6%	－

※1 「医療機関就労生徒」とは、新入生のうち医療機関で働きながら学ぶ生徒、あるいは医療機関で働きながら学ぶことを希望する生徒を指す。
※2 他の専門学校卒業生は「高校既卒」として集計した。

令和元年　調査結果の概要

2. 倍率（応募者/定員）

（学校数）

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
0.8倍未満	38	(22.4%)	20	(28.6%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)
1.0倍未満	20	(11.8%)	12	(17.1%)	2	(2.8%)	1	(20.0%)
1.2倍未満	46	(27.1%)	16	(22.9%)	4	(5.6%)	0	(0.0%)
1.5倍未満	26	(15.3%)	16	(22.9%)	5	(7.0%)	0	(0.0%)
2.0倍未満	22	(12.9%)	6	(8.6%)	16	(22.5%)	0	(0.0%)
2.5倍未満	11	(6.5%)	0	(0.0%)	13	(18.3%)	0	(0.0%)
3.0倍未満	5	(2.9%)	0	(0.0%)	16	(22.5%)	1	(20.0%)
4.0倍未満	2	(1.2%)	0	(0.0%)	11	(15.5%)	2	(40.0%)
5.0倍未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(4.2%)	1	(20.0%)
合計	170	(100.0%)	70	(100.0%)	71	(100.0%)	5	(100.0%)
最高倍率	3.4	倍	1.9	倍	4.9	倍	4.3	倍
最低倍率	0.3	倍	0.3	倍	0.6	倍	1.0	倍
平均	1.2	倍	1.0	倍	2.3	倍	2.9	倍

3. 入学率（入学者/合格者）

（学校数）

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
50%未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	0	(0.0%)
60%未満	1	(0.6%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	0	(0.0%)
70%未満	5	(2.9%)	1	(1.4%)	9	(12.7%)	0	(0.0%)
80%未満	12	(7.1%)	4	(5.7%)	20	(28.2%)	0	(0.0%)
90%未満	54	(31.8%)	13	(18.6%)	25	(35.2%)	2	(40.0%)
100%未満	59	(34.7%)	36	(51.4%)	10	(14.1%)	2	(40.0%)
100%	39	(22.9%)	16	(22.9%)	3	(4.2%)	1	(20.0%)
合計	170	(100.0%)	70	(100.0%)	71	(100.0%)	5	(100.0%)
最高率	100.0	%	100.0	%	100.0	%	100.0	%
最低率	53.3	%	66.7	%	40.3	%	87.5	%
平均	90.3	%	93.1	%	79.3	%	92.0	%

4. 定員充足率(入学者/定員)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
50%未満	16	(9.4%)	8	(11.4%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)
60%未満	23	(13.5%)	5	(7.1%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)
70%未満	16	(9.4%)	6	(8.6%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)
80%未満	20	(11.8%)	6	(8.6%)	8	(11.3%)	2	(40.0%)
90%未満	27	(15.9%)	8	(11.4%)	5	(7.0%)	0	(0.0%)
100%未満	30	(17.6%)	16	(22.9%)	12	(16.9%)	0	(0.0%)
100%	10	(5.9%)	8	(11.4%)	12	(16.9%)	3	(60.0%)
100%以上	28	(16.5%)	13	(18.6%)	31	(43.7%)	0	(0.0%)
合計	170	(100.0%)	70	(100.0%)	71	(100.0%)	5	(100.0%)
最高率	116.7	%	117.5	%	120.0	%	100.0	%
最低率	20.0	%	17.5	%	31.7	%	70.0	%
平均	79.0	%	82.6	%	96.0	%	88.0	%

5. 男子生徒率(男子生徒数/入学者)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
0%	9	(5.3%)	2	(2.9%)	4	(5.6%)	－	－
10%未満	14	(8.2%)	6	(8.6%)	26	(36.6%)	－	－
20%未満	71	(41.8%)	21	(30.0%)	31	(43.7%)	－	－
30%未満	54	(31.8%)	28	(40.0%)	7	(9.9%)	－	－
40%未満	17	(10.0%)	9	(12.9%)	2	(2.8%)	－	－
40%以上	5	(2.9%)	4	(5.7%)	1	(1.4%)	－	－
合計	170	(100.0%)	70	(100.0%)	71	(100.0%)	－	－
最高率	61.1	%	48.4	%	40.0	%	－	%
最低率	0.0	%	0.0	%	0.0	%	－	%
平均	19.3	%	21.9	%	12.4	%	－	%

6. 医療機関就労生徒率（医療機関就労生徒/入学者）

（学校数）

	准看護師課程	
0%	15	(8.8%)
50%未満	69	(40.6%)
60%未満	19	(11.2%)
70%未満	27	(15.9%)
80%未満	21	(12.4%)
90%未満	14	(8.2%)
100%未満	4	(2.4%)
100%	1	(0.6%)
合計	170	(100.0%)
最高率	100.0 %	
最低率	0.0 %	
平均	48.0 %	

<2>平成30年度卒業状況

1. 卒業後の進路

（人）

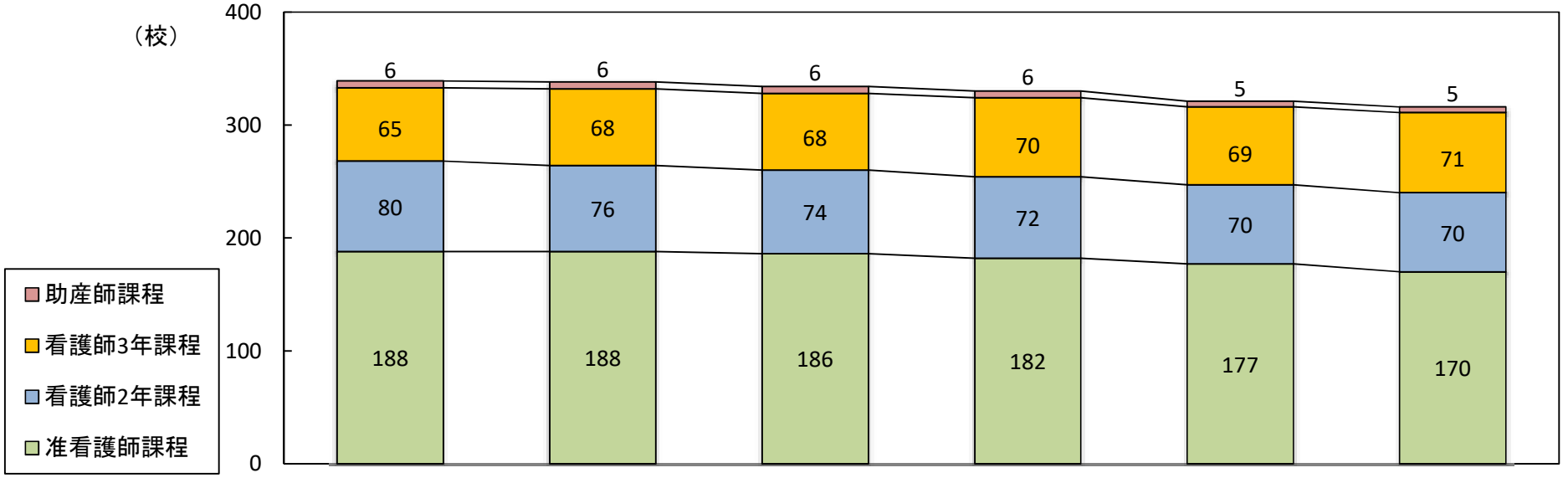
平成30年度	卒業者数	看護職員として就業								進学				その他	
				医師会(管内)就業		医師会(管外)就業		県外就業				医療機関に就業中			
准看護師課程	6,417	3,080	(48.0%)	1,730	(27.0%)	1,015	(15.8%)	335	(5.2%)	2,904	(45.3%)	1,721	(26.8%)	433	(6.7%)
看護師2年課程	2,687	2,570	(95.6%)	1,435	(53.4%)	775	(28.8%)	360	(13.4%)	14	(0.5%)	1	(0.0%)	103	(3.8%)
看護師3年課程	3,064	2,857	(93.2%)	1,595	(52.1%)	887	(28.9%)	375	(12.2%)	58	(1.9%)	0	(0.0%)	149	(4.9%)
助産師課程	89	88	(98.9%)	44	(49.4%)	23	(25.8%)	21	(23.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.1%)

入学・卒業状況の経年変化

Ⅰ．学校数の推移

学校数の推移を見ると、看護師2年課程、准看護師課程では減少傾向にあり、5年前に比べ准看護師課程は18校減、看護師2年課程は10校減となっている。看護師3年課程は、6校増の71校であった。

1. 学校数の推移



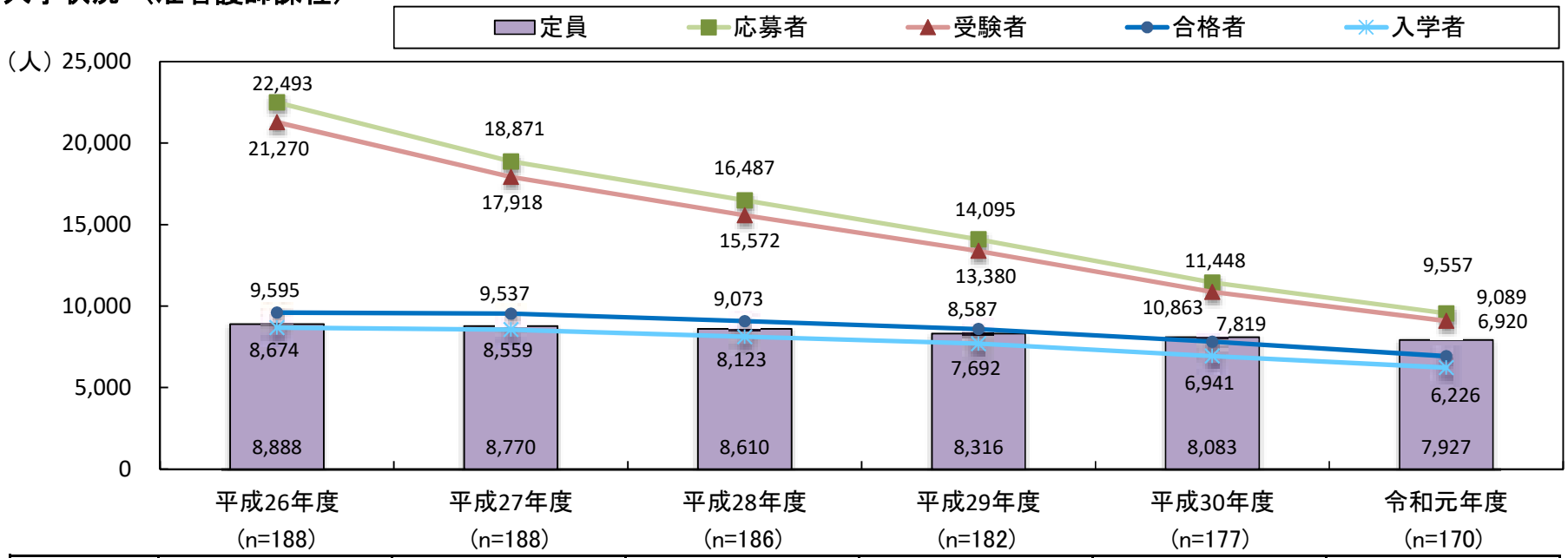
	(N=345)	(N=338)	(N=334)	(N=330)	(N=321)	(N=316)
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
准看護師課程	188	188	186	182	177	170
看護師2年課程	80	76	74	72	70	70
看護師3年課程	65	68	68	70	69	71
助産師課程	6	6	6	6	5	5

（校）

Ⅱ. 入学状況の推移

准看護師課程の応募者は減少が続いており、令和元年度は9,557人で、5年前に比べ約13,000人減と大幅に減少している。一方、定員は、5年前に比べ約900人の減となり、8,000人を割った。入学者も大きく減少し、令和元年度は6,226人で、定員を大きく下回った。

1. 入学状況 （准看護師課程）



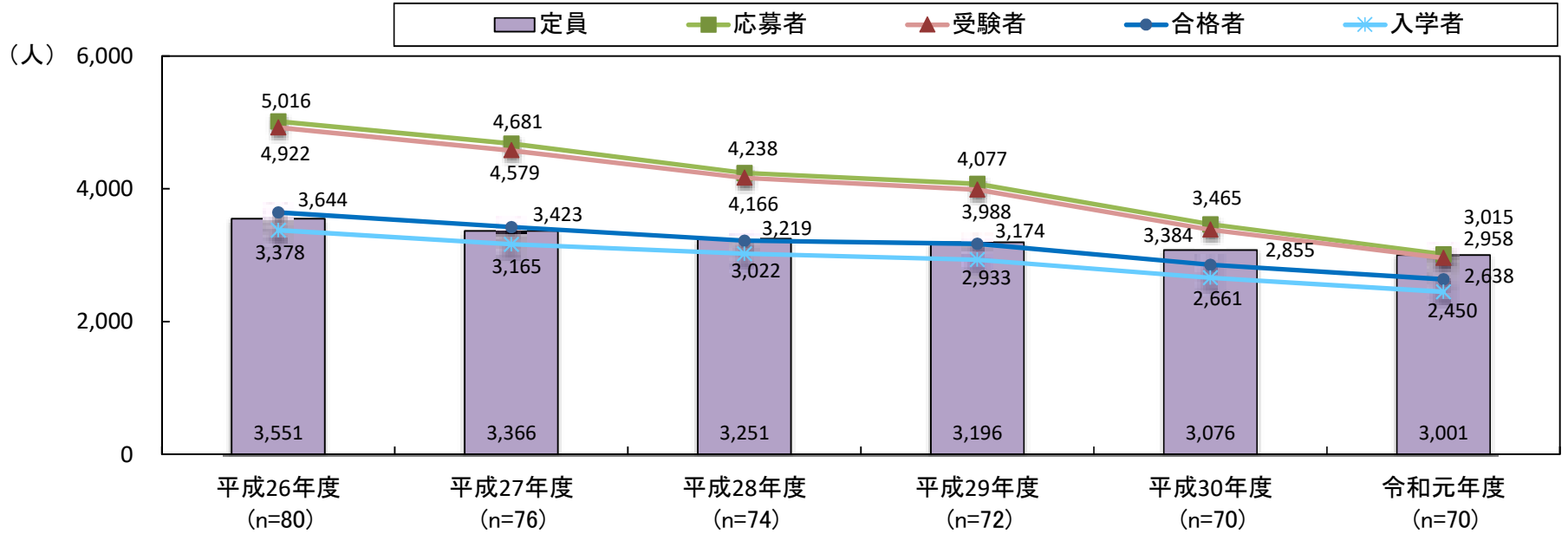
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
定員	8,888	8,770	8,610	8,316	8,083	7,927
応募者	22,493	18,871	16,487	14,095	11,448	9,557
受験者	21,270	17,918	15,572	13,380	10,863	9,089
合格者	9,595	9,537	9,073	8,587	7,819	6,920
入学者	8,674	8,559	8,123	7,692	6,941	6,226

（人）

Ⅱ. 入学状況の推移

看護師2年課程は、令和元年度も前年度に比べて応募者の減少が大きく（450人）、入学者は2,450人であった。応募者の減少に関して、看護師2年課程通信制の入学要件緩和の影響に注視する必要がある。

2. 入学状況 （看護師2年課程）



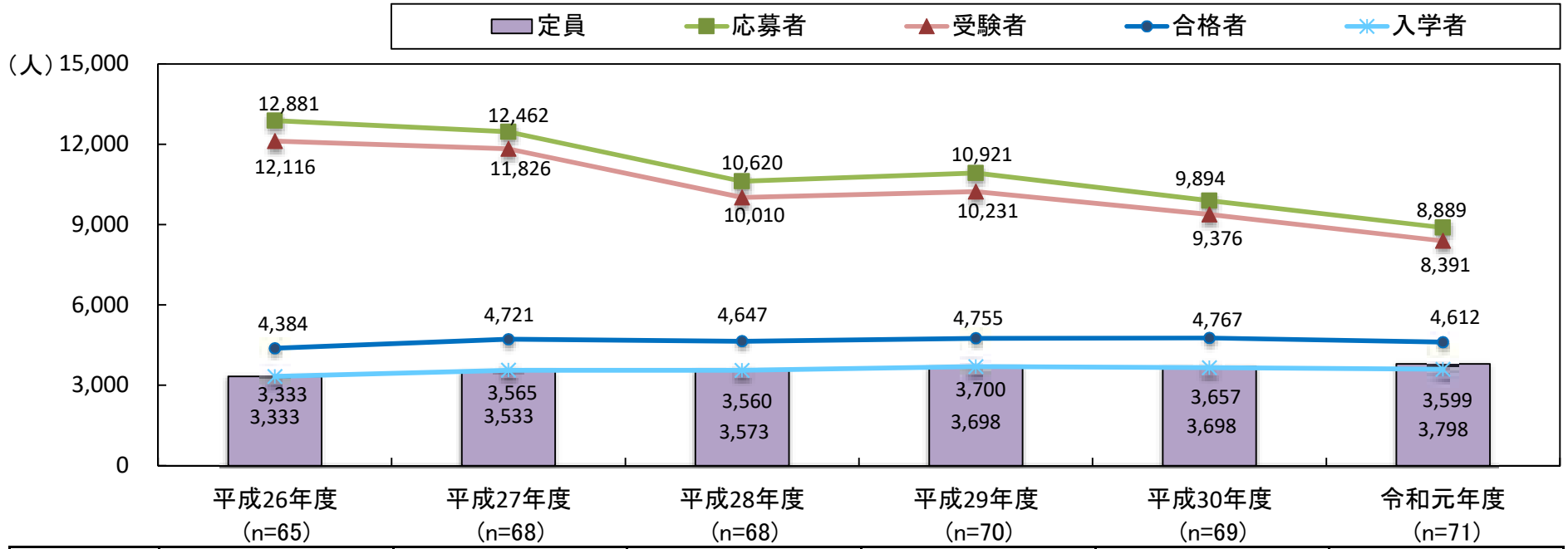
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
定員	3,551	3,366	3,251	3,196	3,076	3,001
応募者	5,016	4,681	4,238	4,077	3,465	3,015
受験者	4,922	4,579	4,166	3,988	3,384	2,958
合格者	3,644	3,423	3,219	3,174	2,855	2,638
入学者	3,378	3,165	3,022	2,933	2,661	2,450

（人）

Ⅱ. 入学状況の推移

看護師3年課程は、応募者が年々減少しており、令和元年度は約8,900人で、5年前の7割の水準まで低下した。一方で、学校数は昨年度より2校増えている。これは、看護師2年課程からの変更によるものである。入学者は3,599人で、定員を下回っている。

3. 入学状況 （看護師3年課程）



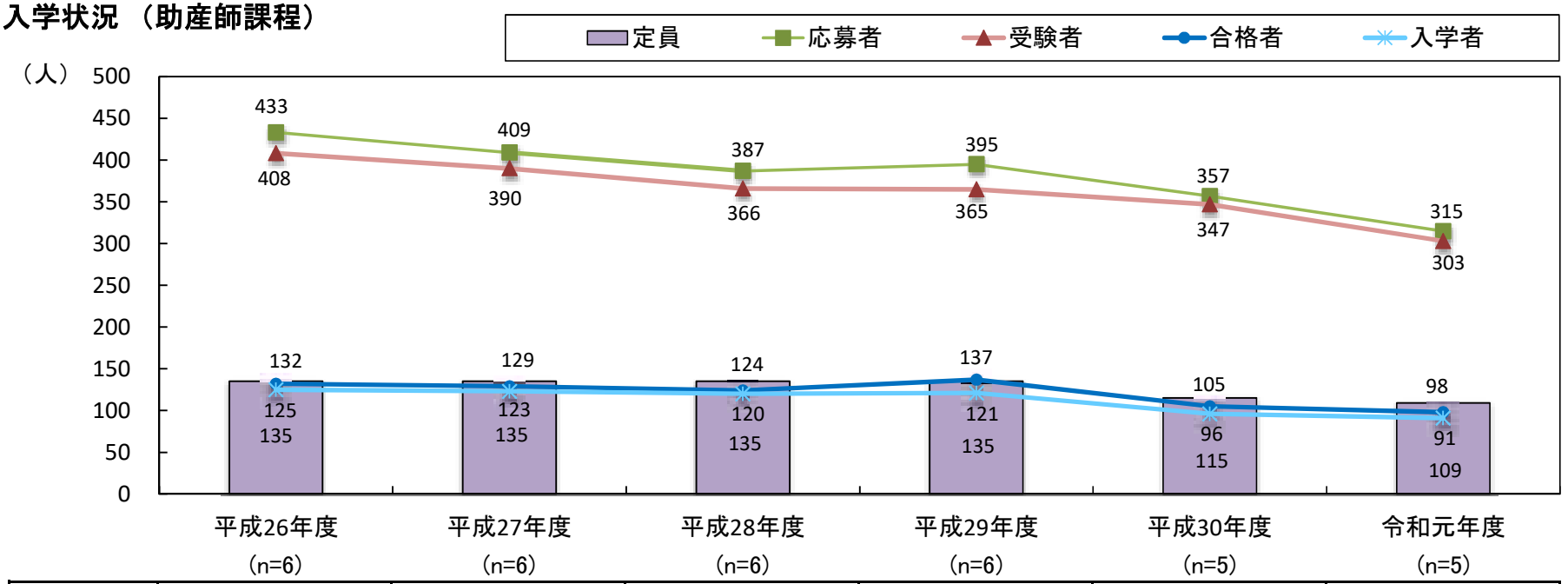
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
定員	3,333	3,533	3,573	3,698	3,698	3,798
応募者	12,881	12,462	10,620	10,921	9,894	8,889
受験者	12,116	11,826	10,010	10,231	9,376	8,391
合格者	4,384	4,721	4,647	4,755	4,767	4,612
入学者	3,333	3,565	3,560	3,700	3,657	3,599

（人）

Ⅱ. 入学状況の推移

助産師課程については、応募者が近年減少傾向にある。令和元年度の入学者は91人であった。

4. 入学状況 （助産師課程）



	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
定員	135	135	135	135	115	109
応募者	433	409	387	395	357	315
受験者	408	390	366	365	347	303
合格者	132	129	124	137	105	98
入学者	125	123	120	121	96	91

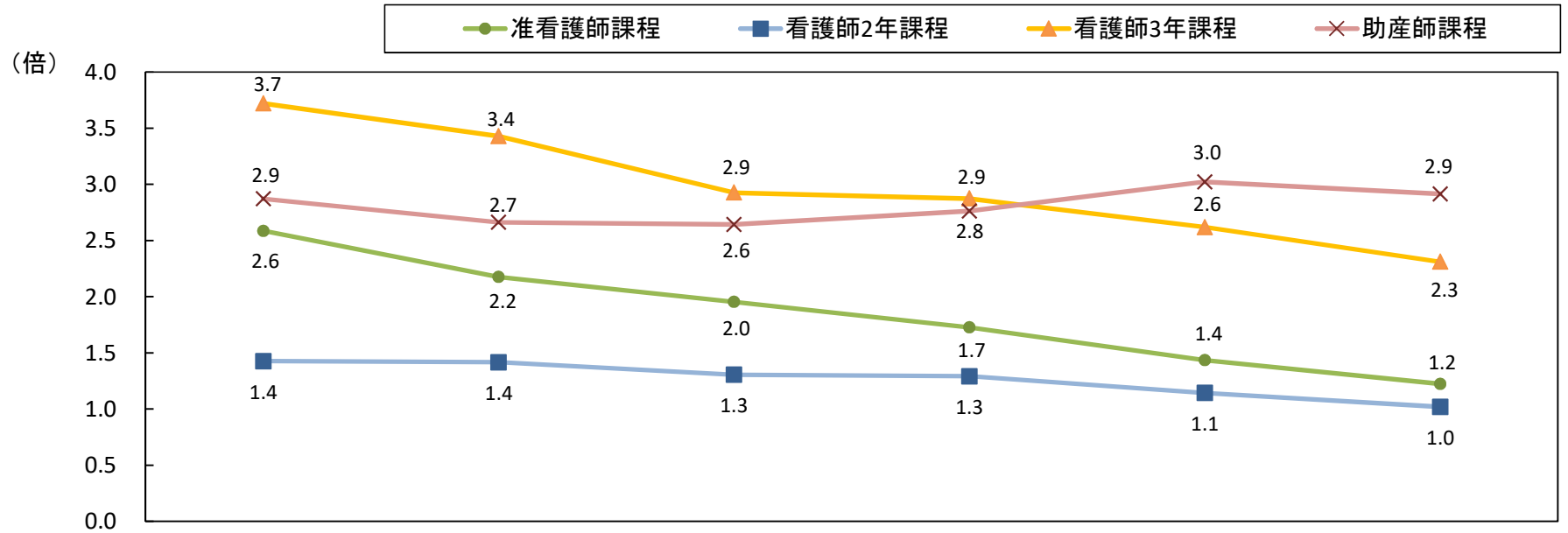
（人）

Ⅲ. 倍率の推移

各課程の倍率（応募者／定員）の推移を示した。
看護師3年課程の倍率は平成25年度までは4倍を超えていたが、平成26年以降低下傾向にあり、令和元年度は2.3倍であった。
准看護師課程も以前は3倍程度であったが、令和元年度は1.2倍にまで低下した。看護師2年課程はここ数年は横ばいが続いていたが、今年度は1.0倍に低下した。助産師課程については、ほぼ横ばいの2.9倍であった。

1. 倍率の推移

＊各校の平均



	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率
准看護師課程	(n=188)	2.6	(n=188)	2.2	(n=186)	2.0	(n=182)	1.7	(n=177)	1.4	(n=170)	1.2
看護師2年課程	(n=80)	1.4	(n=76)	1.4	(n=74)	1.3	(n=72)	1.3	(n=70)	1.1	(n=70)	1.0
看護師3年課程	(n=65)	3.7	(n=68)	3.4	(n=68)	2.9	(n=70)	2.9	(n=69)	2.6	(n=71)	2.3
助産師課程	(n=6)	2.9	(n=6)	2.7	(n=6)	2.6	(n=6)	2.8	(n=5)	3.0	(n=5)	2.9

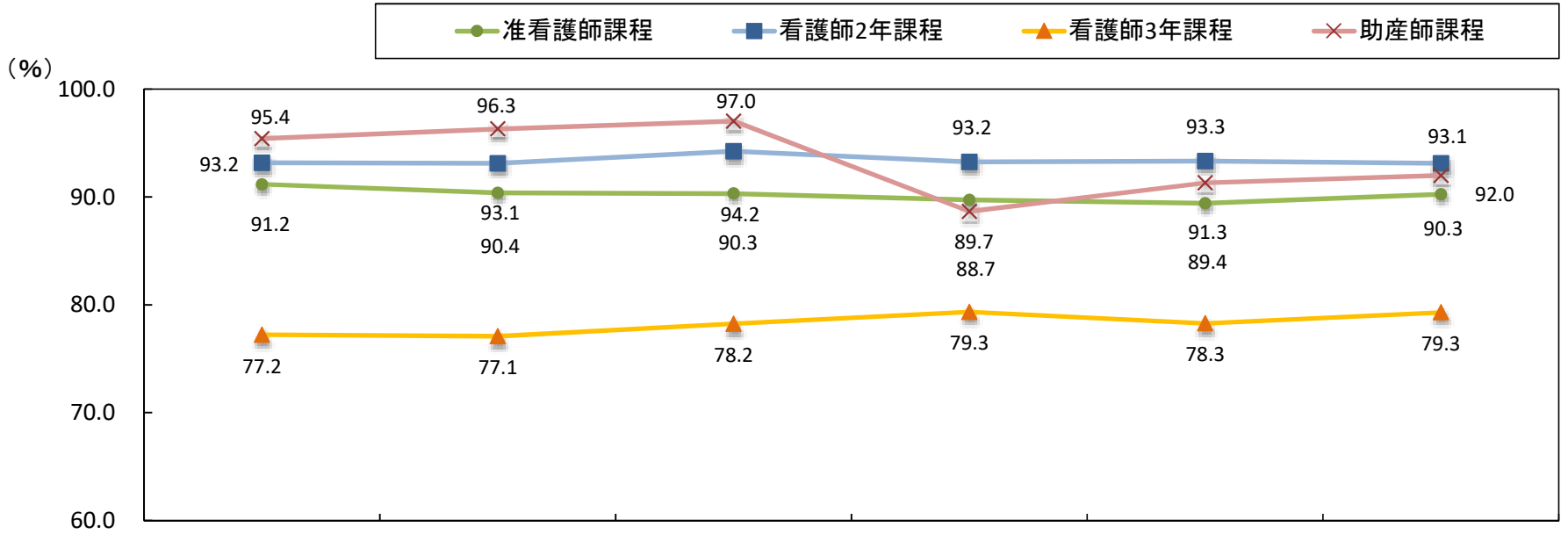
（倍）

Ⅳ. 入学率の推移

入学率（入学者／合格者）の推移を各課程毎に示した。准看護師課程・看護師2年課程・助産師課程については、概ね9割程度である。一方、看護師3年課程については、他の課程と比較すると低い水準で推移しており、令和元年度は79.3%であった

1. 入学率の推移

＊各校の平均

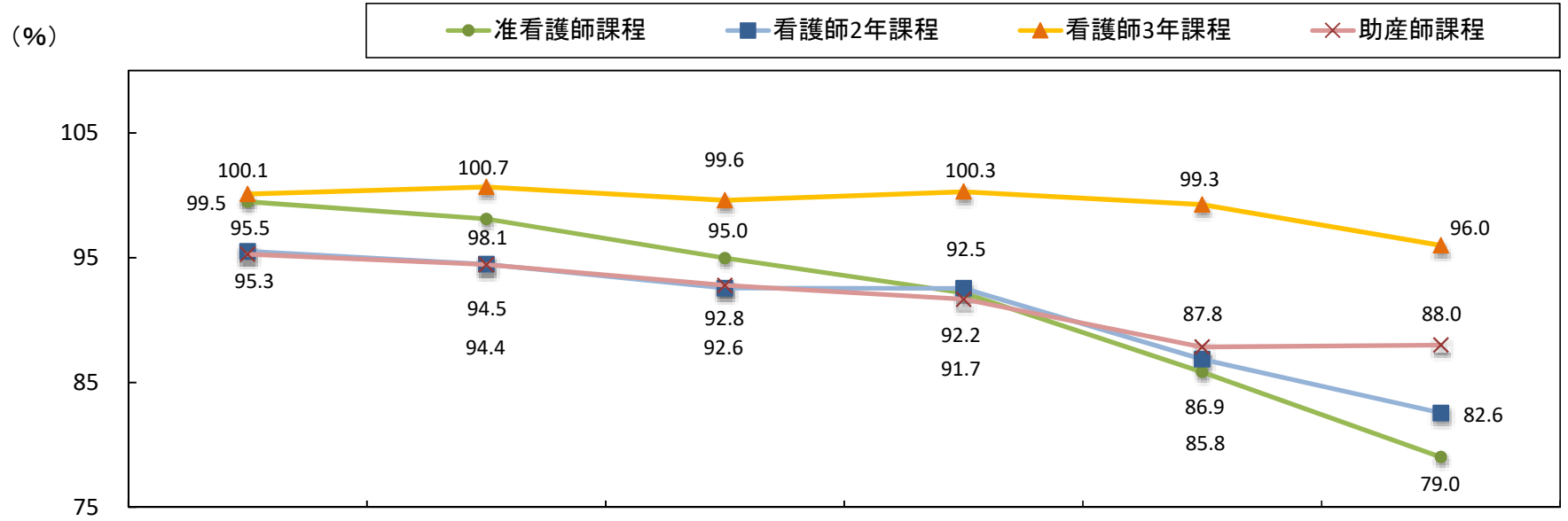


	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		(%)
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	
准看護師課程	(n=188)	91.2	(n=188)	90.4	(n=186)	90.3	(n=182)	89.7	(n=177)	89.4	(n=170)	90.3	
看護師2年課程	(n=80)	93.2	(n=76)	93.1	(n=74)	94.2	(n=72)	93.2	(n=70)	93.3	(n=70)	93.1	
看護師3年課程	(n=65)	77.2	(n=68)	77.1	(n=68)	78.2	(n=70)	79.3	(n=69)	78.3	(n=71)	79.3	
助産師課程	(n=6)	95.4	(n=6)	96.3	(n=6)	97.0	(n=6)	88.7	(n=5)	91.3	(n=5)	92.0	

Ⅴ. 定員充足率の推移

定員充足率（入学者／定員）の推移を各課程毎に示した。看護師3年課程以外は、いずれも90%を下回り、前年度に比べても低下が激しく、特に看護師2年課程、准看護師課程は定員割れが目立つ結果となった。

1. 定員充足率の推移　＊各校の平均



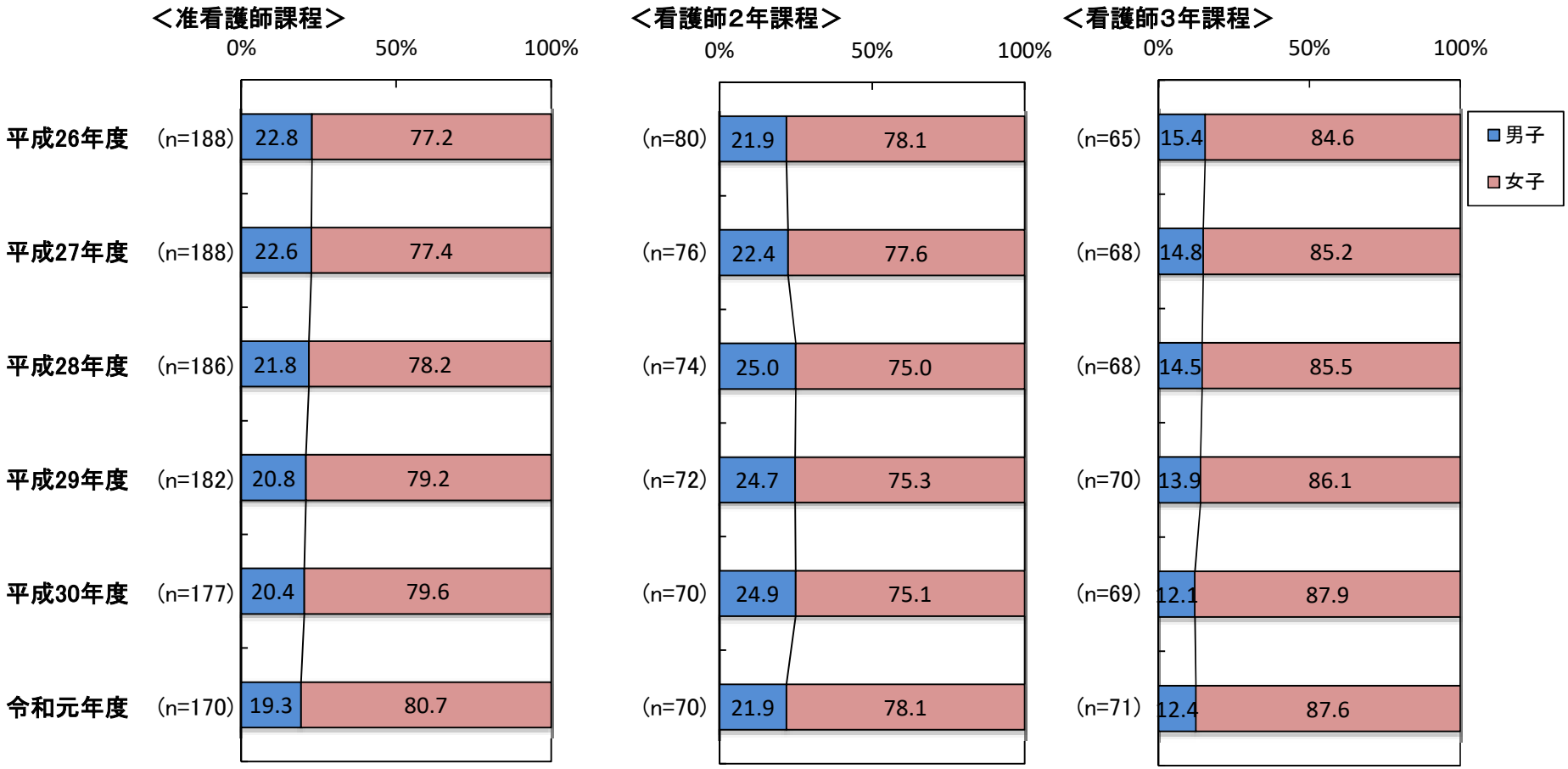
	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		(%)
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	
准看護師課程	(n=188)	99.5	(n=188)	98.1	(n=186)	95.0	(n=182)	92.2	(n=177)	85.8	(n=170)	79.0	
看護師2年課程	(n=80)	95.5	(n=76)	94.5	(n=74)	92.6	(n=72)	92.5	(n=70)	86.9	(n=70)	82.6	
看護師3年課程	(n=65)	100.1	(n=68)	100.7	(n=68)	99.6	(n=70)	100.3	(n=69)	99.3	(n=71)	96.0	
助産師課程	(n=6)	95.3	(n=6)	94.4	(n=6)	92.8	(n=6)	91.7	(n=5)	87.8	(n=5)	88.0	

Ⅵ. 男子生徒率の推移

男子生徒率は、准看護師課程及び看護師2年課程では20%程度で推移している。看護師3年課程は、他の課程に比べてやや低く、令和元年度は12.4%であった。

1. 男子生徒率の推移

＊各校の平均比率（n=回答校数）

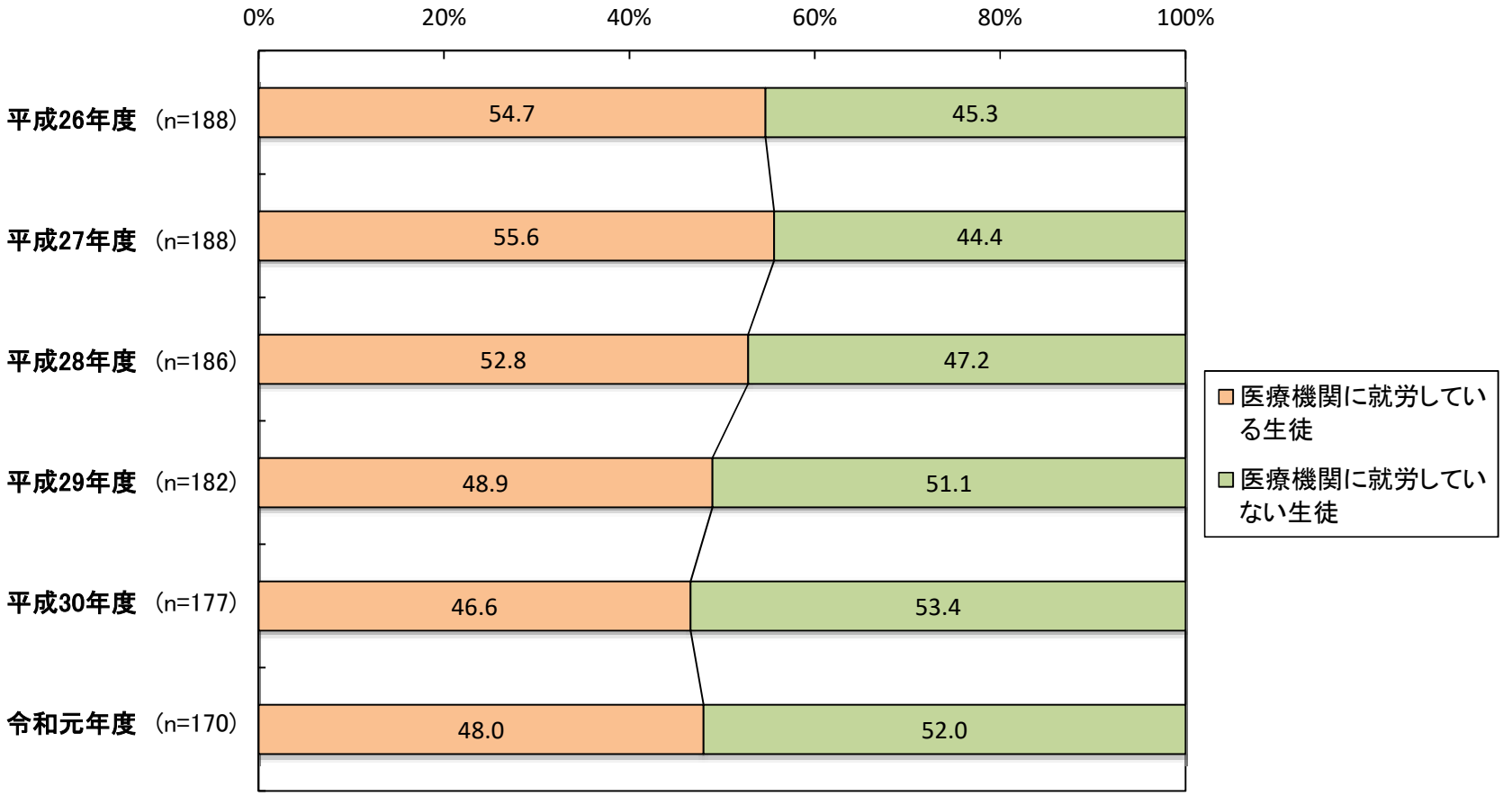


Ⅶ. 医療機関就労生徒率の推移

准看護師課程で学びながら医療機関で就労している生徒の割合は、令和年度は48.0%であった。5年前に比べ、医療機関で就労していない生徒の割合が増加傾向にある。

1. 医療機関就労生徒率の推移 （准看護師課程）

＊各校の平均比率（n=回答校数）

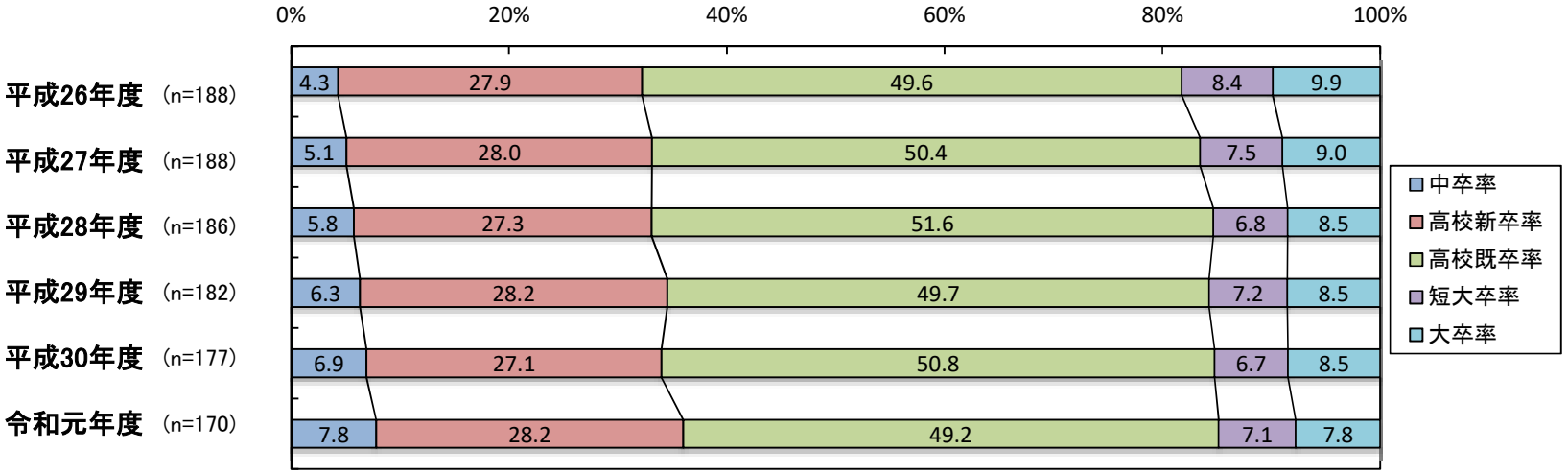


Ⅷ. 最終学歴の推移

准看護師課程入学者の最終学歴は、概ね、高校既卒が5割、高校新卒が3割程度で推移している。短大・大卒の割合はやや減少傾向、中卒はやや増加傾向にある。

1. 最終学歴の割合 （准看護師課程）

＊各校の平均比率（n=回答校数）



（人）

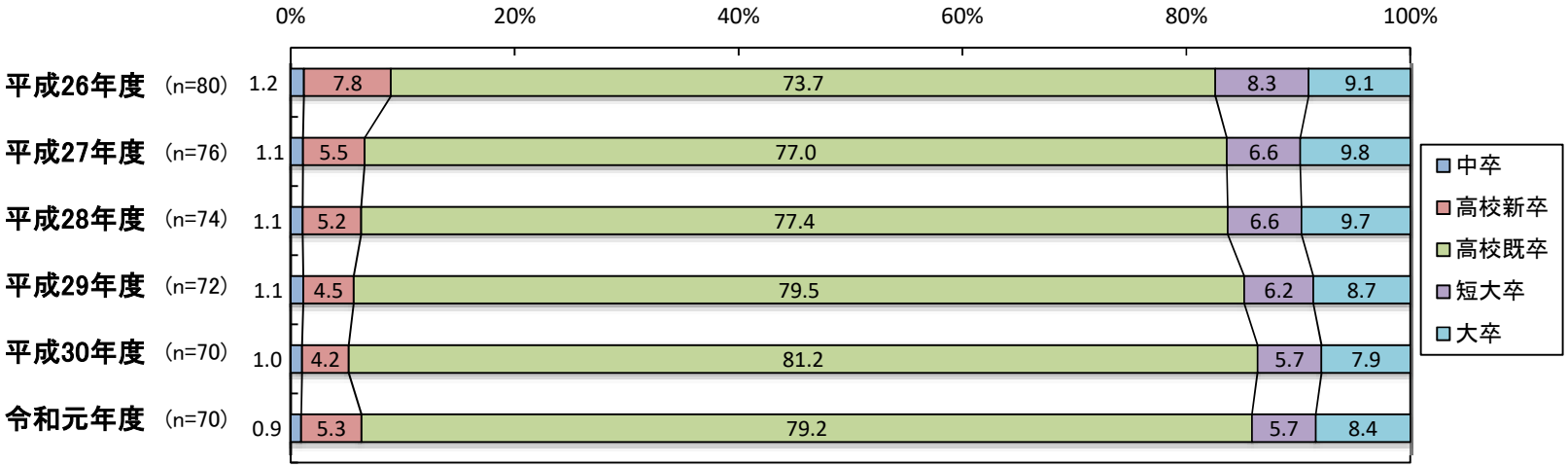
	回答校数	中卒	高校中退	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒
平成26年度	(n=188)	374	246	2,421	4,298	726	855
平成27年度	(n=188)	436	294	2,399	4,310	646	768
平成28年度	(n=186)	469	295	2,220	4,191	553	690
平成29年度	(n=182)	486	317	2,171	3,826	553	656
平成30年度	(n=177)	480	290	1,880	3,526	467	588
令和元年度	(n=170)	486	323	1,755	3,062	440	483

Ⅷ. 最終学歴の推移

看護師2年課程は、准看護師課程の卒業者（前ページ参照）が入学するため、約8割が高校既卒である。短大・大卒の割合は、令和元年度は14.1%と、横ばいである。

2. 最終学歴の割合 （看護師2年課程）

＊各校の平均比率（n=回答校数）



（人）

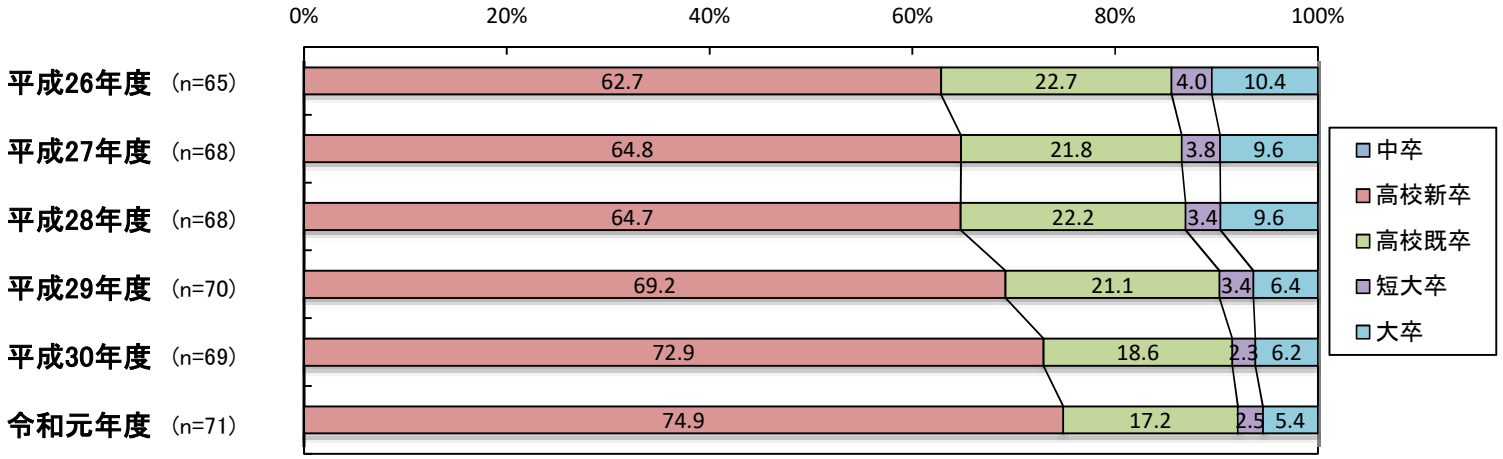
	回答校数	中卒	高校中退	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒
平成26年度	(n=80)	40	16	262	2,488	281	307
平成27年度	(n=76)	35	19	174	2,437	208	311
平成28年度	(n=74)	32	11	158	2,339	199	294
平成29年度	(n=72)	33	12	132	2,333	181	254
平成30年度	(n=70)	27	12	111	2,160	152	211
令和元年度	(n=70)	23	10	131	1,940	139	206

Ⅷ. 最終学歴の推移

看護師3年課程は、高校新卒の割合が年々増加傾向にあり、令和元年度は74.9%であった。続いて高校既卒が2割弱程度となっている。短大・大卒の割合は減少傾向にあり、令和元年度は7.9%であった。

3. 最終学歴の割合 （看護師3年課程）

＊各校の平均比率（n=回答校数）



	回答校数	中卒	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒
平成26年度	(n=65)	－	2,091	757	132	348
平成27年度	(n=68)	－	2,310	776	135	344
平成28年度	(n=68)	－	2,304	789	122	342
平成29年度	(n=70)	－	2,560	781	124	235
平成30年度	(n=69)	－	2,667	681	84	225
令和元年度	(n=71)	－	2,695	620	89	195

（人）

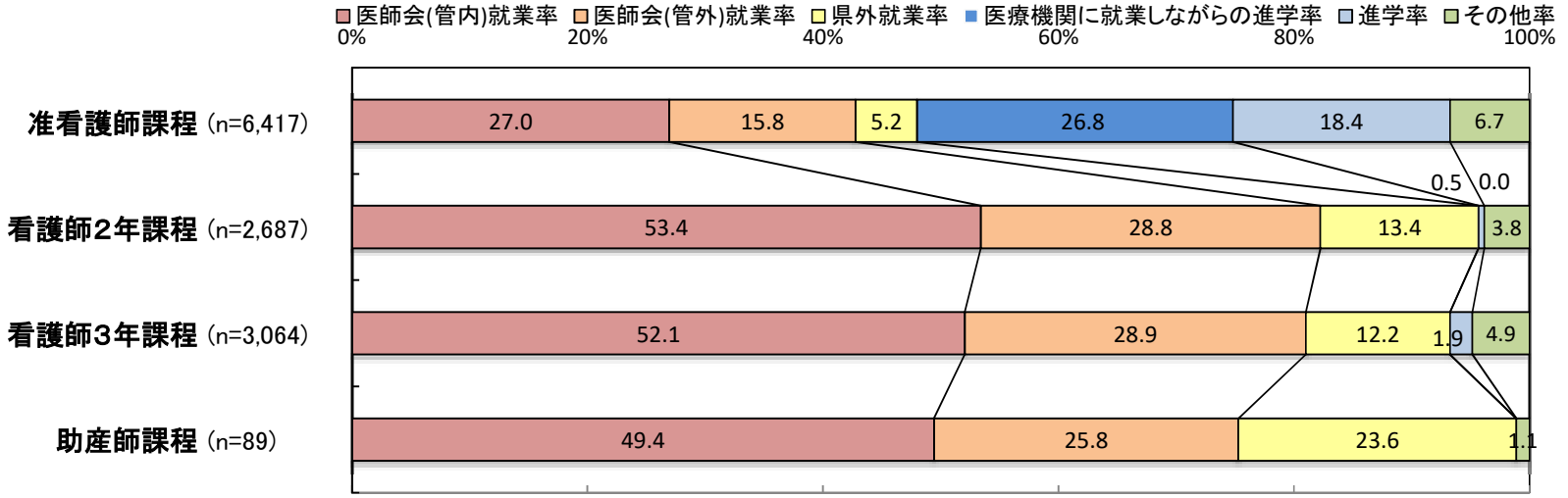
*大検合格者は高校既卒にカウントしている。（平成23年度は中卒にカウントした。）

Ⅸ. 卒業後の進路

卒業後の進路を課程別にみると、准看護師課程は課程の性格上、進学率が他の課程と比較して高く45.2%にのぼる。ただし、進学者の半数以上（全体の26.8%）は医療機関に就業しながらの進学であり、全体で7割以上が就業していることになる。
看護師2年課程、看護師3年課程の就業先は、養成所を設置運営している医師会管内が5割を超え、次いで医師会管外、県外の順となっている。助産師課程は、他の課程と比べて県外就業率が高く、23.6%であった。

1. 卒業後の進路

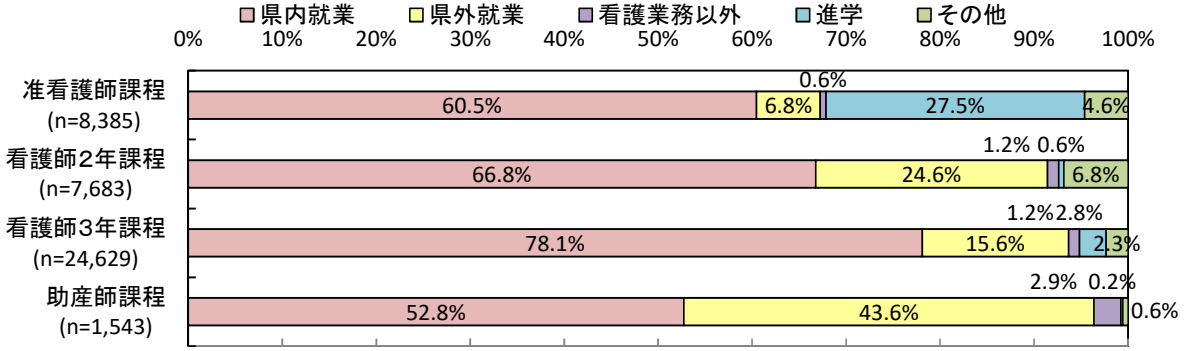
＊総数に占める割合（n=卒業者数）



＜参考＞

全国の養成所の卒業状況
（平成30年3月卒業）

※大学・短大を除く

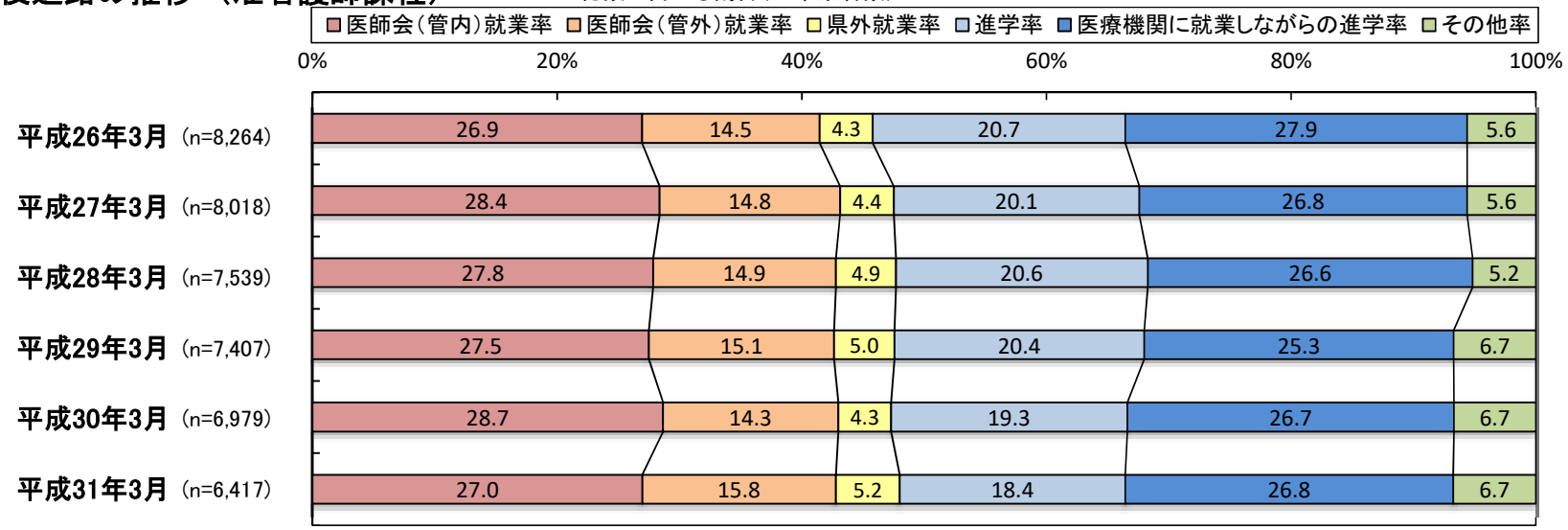


Ⅹ. 卒業後進路の推移

准看護師課程の卒業後の推移を見ると、進学（進学＋医療機関に就業しながらの進学）はおよそ40%台後半で推移している。

1. 卒業後進路の推移 （准看護師課程）

＊総数に占める割合（n=卒業者数）



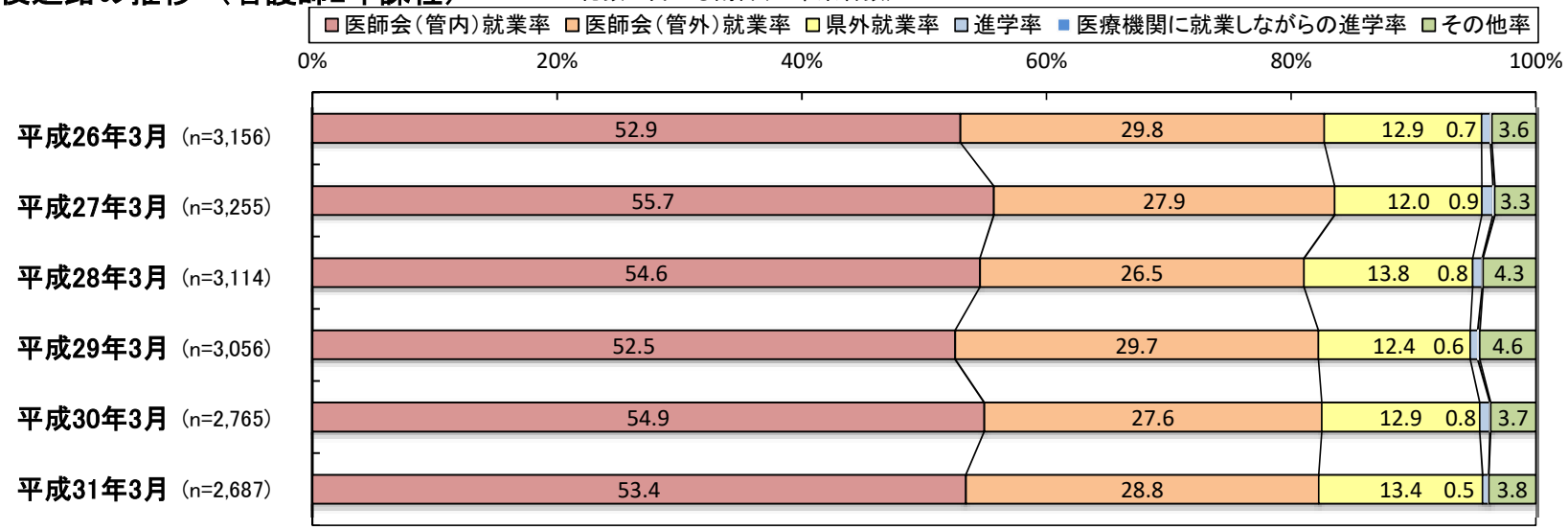
	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会（管内）	医師会（管外）				
平成26年3月	(n=188)	2,226	1,200	358	1,707	2,308	465
平成27年3月	(n=188)	2,274	1,184	353	1,608	2,149	450
平成28年3月	(n=186)	2,099	1,126	370	1,553	2,002	389
平成29年3月	(n=182)	2,037	1,120	367	1,512	1,874	497
平成30年3月	(n=177)	2,000	999	302	1,348	1,862	468
平成31年3月	(n=170)	1,730	1,015	335	1,183	1,721	433

Ⅹ. 卒業後進路の推移

看護師2年課程の進路の傾向は、医師会管内の医療機関への就業が5割超、医師会管外が3割弱で、計8割以上が県内で就業している。

2. 卒業後進路の推移 （看護師2年課程）

＊総数に占める割合（n=卒業者数）



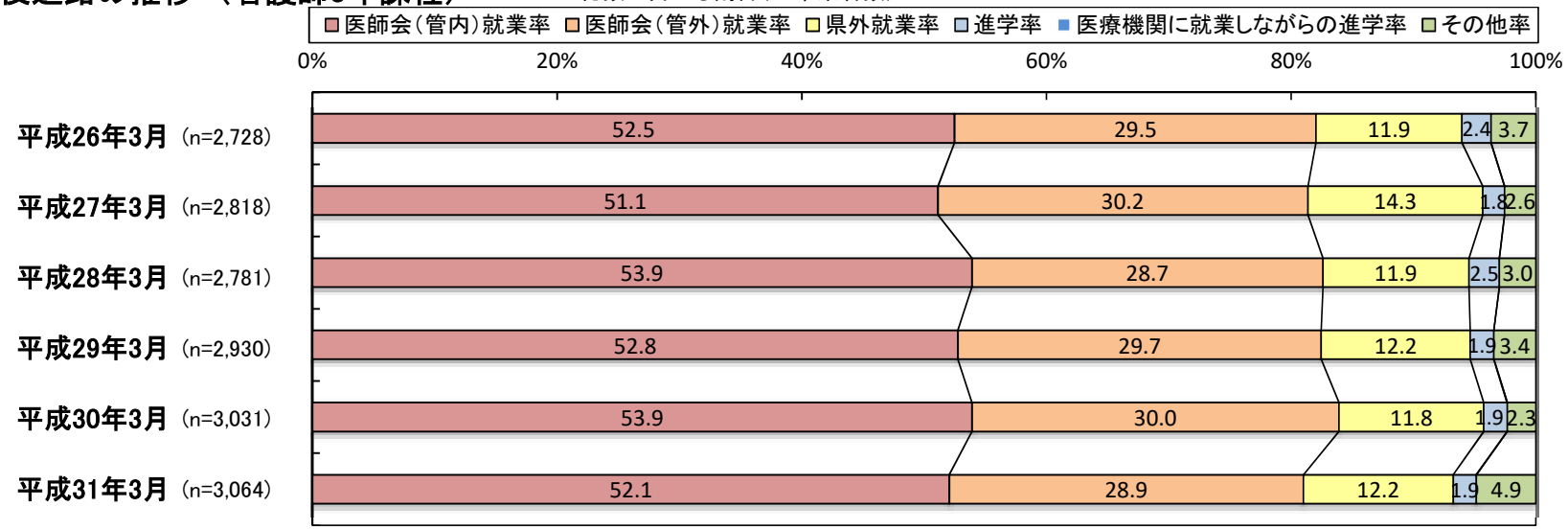
	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会（管内）	医師会（管外）				
平成26年3月	(n=80)	1,671	939	406	23	4	113
平成27年3月	(n=76)	1,813	907	391	30	5	109
平成28年3月	(n=74)	1,699	825	429	24	3	134
平成29年3月	(n=72)	1,605	908	379	19	5	140
平成30年3月	(n=70)	1,518	763	357	23	2	102
平成31年3月	(n=70)	1,435	775	360	13	1	103

Ⅹ. 卒業後進路の推移

看護師3年課程も、2年課程と同様で、医師会管内の医療機関への就業が5割超、医師会管外が3割弱と、計8割以上が県内で就業している。

3. 卒業後進路の推移 （看護師3年課程）

＊総数に占める割合（n=卒業者数）



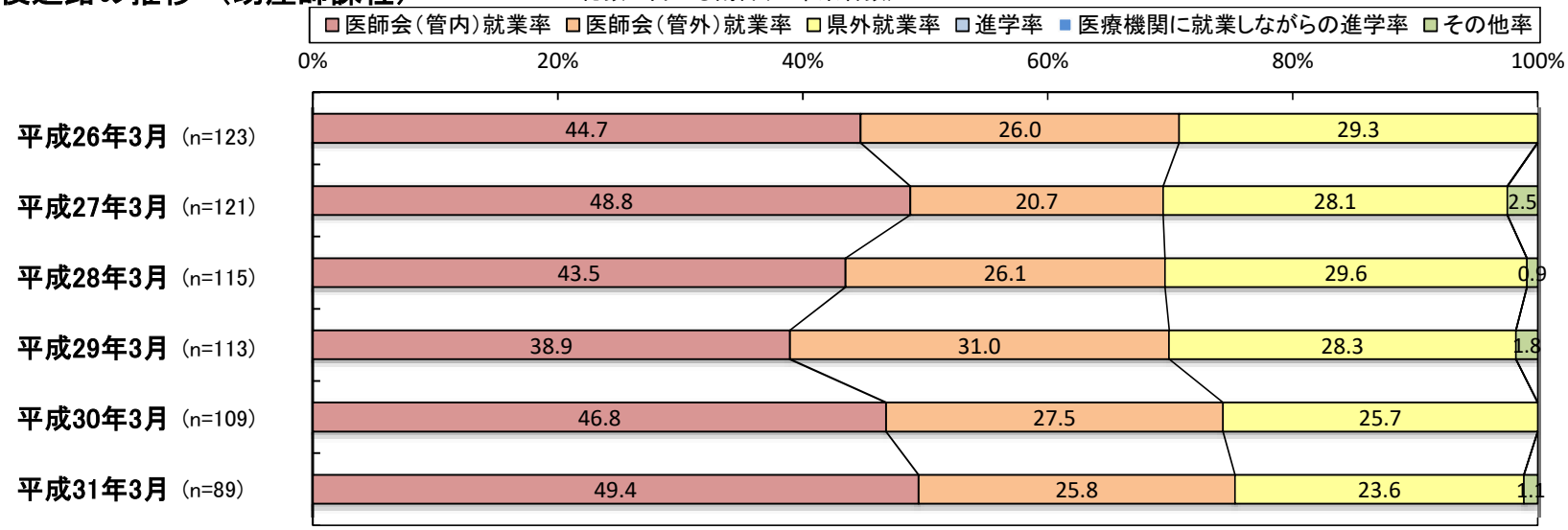
	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会（管内）	医師会（管外）				
平成26年3月	(n=65)	1,432	806	325	65	0	100
平成27年3月	(n=68)	1,441	852	403	50	0	72
平成28年3月	(n=68)	1,499	798	332	69	0	83
平成29年3月	(n=70)	1,546	870	357	56	0	101
平成30年3月	(n=69)	1,634	909	359	58	0	71
平成31年3月	(n=71)	1,595	887	375	58	0	149

Ⅹ. 卒業後進路の推移

助産師課程の卒業後の進路の推移を見ると、県内就業が7割程度、県外就業が3割程度で推移している。

4. 卒業後進路の推移 （助産師課程）

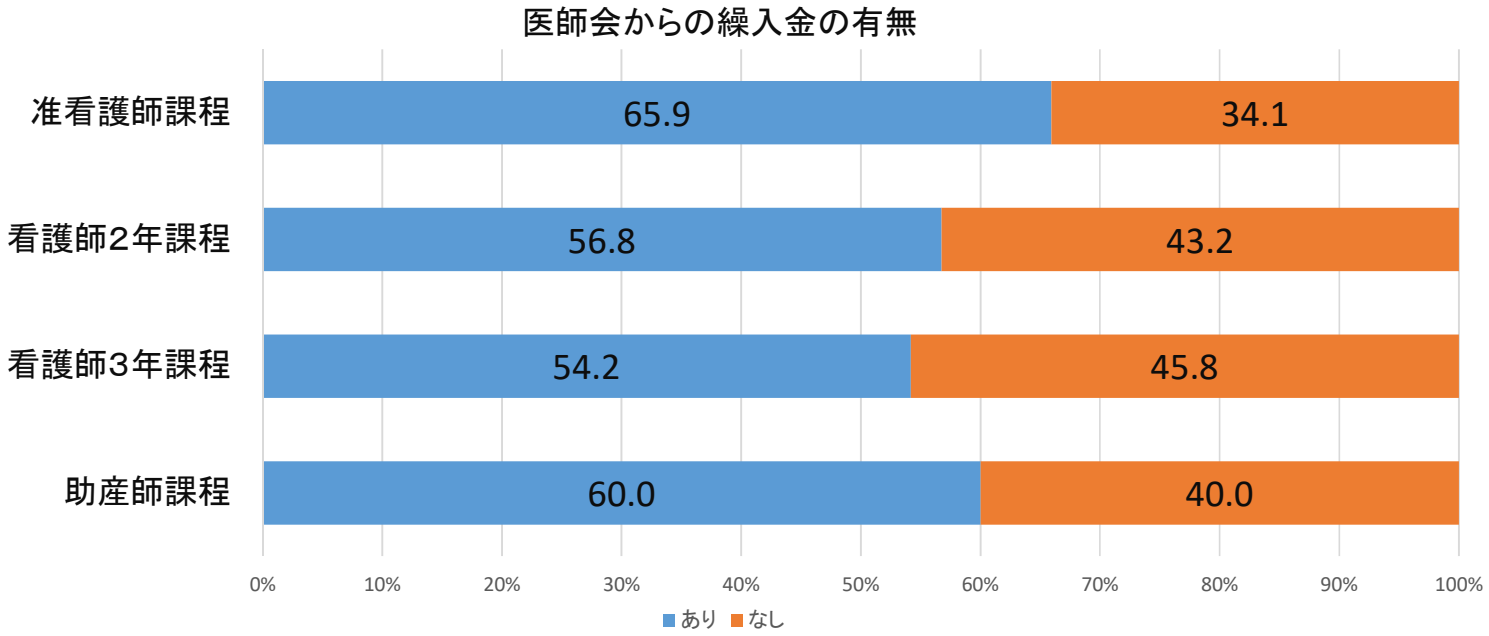
＊総数に占める割合（n=卒業者数）



	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会（管内）	医師会（管外）				
平成26年3月	(n=6)	55	32	36	0	0	0
平成27年3月	(n=6)	59	25	34	0	0	3
平成28年3月	(n=6)	50	30	34	0	0	1
平成29年3月	(n=6)	44	35	32	0	0	2
平成30年3月	(n=6)	51	30	28	0	0	0
平成31年3月	(n=5)	44	23	21	0	0	1

ＸⅠ．医師会からの繰入金の有無

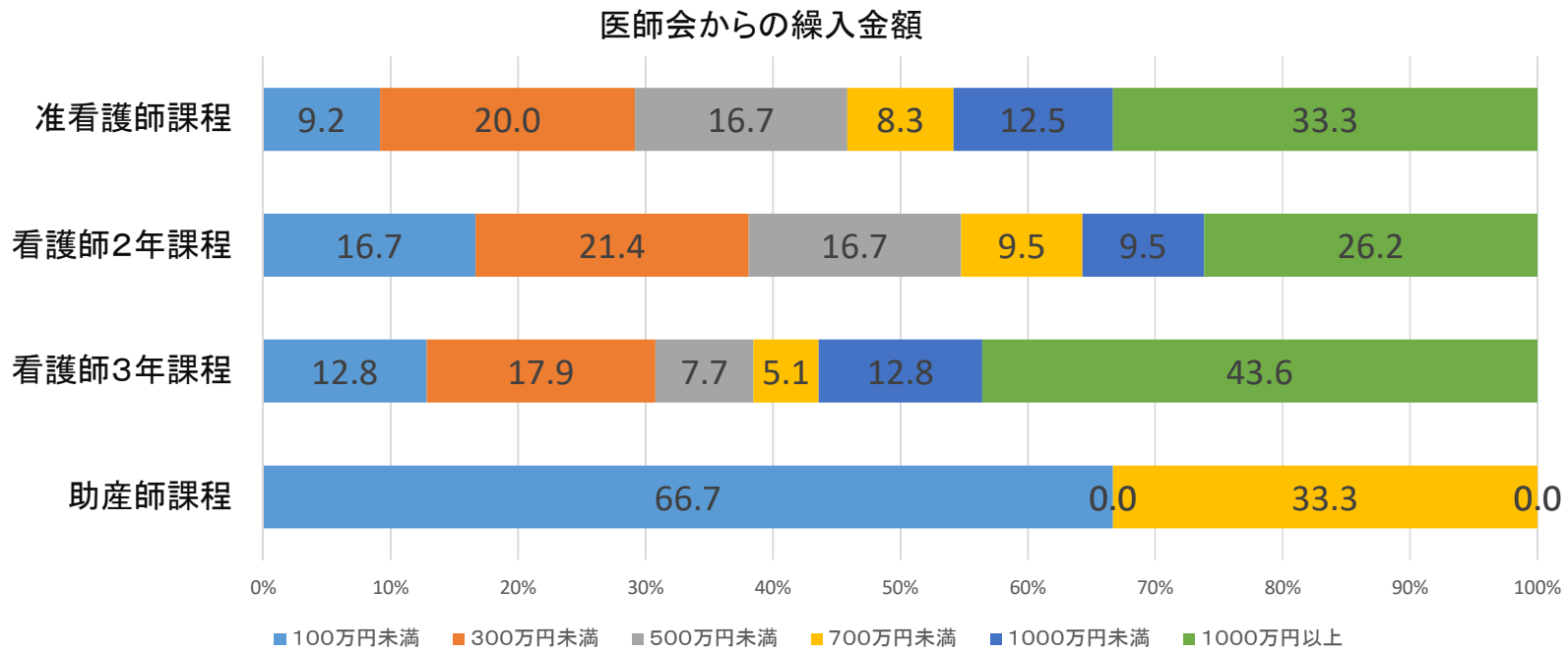
全課程においておよそ6割が医師会からの繰入金があると回答。中でも准看護師課程は65.9%と高くなっている。



	繰入金あり	繰入金なし
准看護師課程	120	62
看護師2年課程	42	32
看護師3年課程	39	33
助産師課程	3	2

ⅩⅡ.医師会からの繰入金

医師会からの繰入金額は、助産師課程は100万円未満が最多であり、他3課程においては、1000万円以上の割合が最多であった。　　医師会への負担が大きいことがわかる。



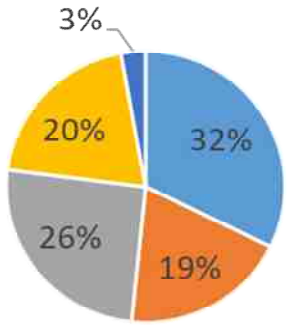
	※(参)学校数合計	繰入金該当学校数	100万円未満	300万円未満	500万円未満	700万円未満	1000万円未満	1000万円以上
准看護師課程	182	120	11	24	20	10	15	40
看護師2年課程	74	42	7	9	7	4	4	11
看護師3年課程	72	39	5	7	3	2	5	17
助産師課程	5	3	2	0	0	1	0	0

XⅢ. 現状の運営課題と今後の運営見通し

准看護師課程においての現状の運営課題は、すべての項目において課題を抱えている学校が多いことがわかる。中でも学生・生徒の確保が難しい。今後の運営見通しは、現状の課題が多くあるが、現状維持すると回答したところが7割であった。

（准看護師課程）

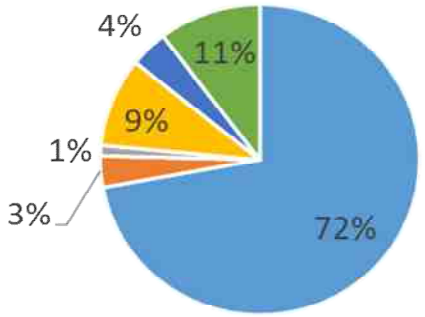
現状の運営課題



■学生・生徒の確保 ■実習施設の確保 ■専任教員・講師の確保
■収支の不均衡 ■その他

その他
・校舎、施設の老朽化
・学生の高齢化
・母子家庭環境増加
・就職先の確保
・県内の応募者が少なくなっている一方で他県からの入学者が増えている
・入学者の減少
・在学者の休学・退学者の増加
・募集広報活動
・年々受験者が減少し定員割れの状況となっており、学生の確保が困難な状況
・母性看護実習施設の確保の難しさがある。母性看護実習における実習施設が少なく分娩や受け持つ対象の数も減少傾向で、学習しづらい状況
・教員として就職後実際の教育現場で講義・実習や学生との関係に戸惑いギャップを感じ続ける意欲が低下し教育現場を1～2年で離れる状況
・新人教員が育たないため、現在いる教員の業務量が過重な状況で休みもとりにくい
・講師は他校との兼務が多く、講義の時期や時間調整に苦慮しながら講師確保している
・自己研鑽による研修の困難

今後の運営見通し



■現状維持 ■定員削減 ■定員増 ■養成課程の廃止 ■養成課程の変更 ■その他

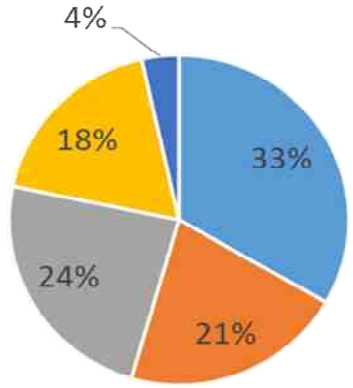
その他
・授業料の値上げを昨年から行ったが、厳しい状況
・収支改善に向けた財源の確保
・学校運営の公設民営化の推進
・学生数減少により、収入が減っている反面、人件費、光熱費の固定費は上がる傾向
・今後の入試の受験者数によっては5～6年先で地域での分校化、一本化を検討する必要がある

XⅢ. 現状の運営課題と今後の運営見通し

看護師2年課程の現状の運営課題は、すべての項目に課題があると回答があったところが多く、中でも学生・生徒の確保の割合が高い。今後の運営見通しについては、6割が現状維持と回答している。

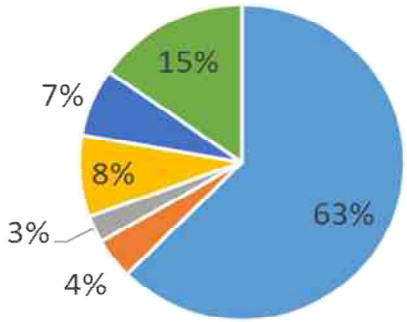
（看護師2年課程）

現状の運営課題



■学生・生徒の確保 ■実習施設の確保 ■専任教員・講師の確保 ■収支の不均衡 ■その他

今後の運営見通し



■現状維持 ■定員削減 ■定員増 ■養成課程の廃止 ■養成課程の変更 ■その他

その他
・准看護師制度の見通しが不透明

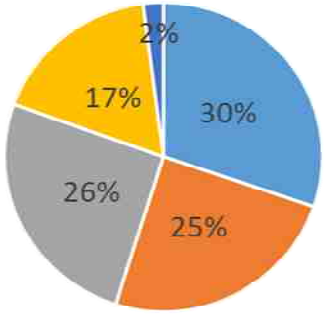
その他
・准看護学校との連携強化（推薦枠の増加など）
・現状維持は学生数が増えないと難しい
・定員を削減しても収支の不均衡は改善しない
・現状からみても定員増加は見込めない
・2019年学校建物老朽化による改修工事を予定 環境改善により学生数が増えることになればと考えている
・難題山積ではあるが現状維持、しかし養成課程の廃止も視野に入れている

XⅢ. 現状の運営課題と今後の運営見通し

看護師3年課程の現状の運営課題は、学生・生徒の確保が一番次いで専任教員・講師の確保、実習施設の確保となっている。今後の運営見通しは、8割が現状維持と回答した。

（看護師3年課程）

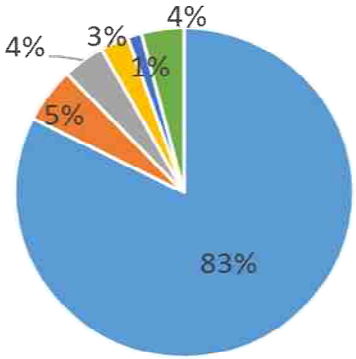
現状の運営課題



■学生・生徒の確保 ■実習施設の確保 ■専任教員・講師の確保 ■収支の不均衡 ■その他

その他
・母性実習施設の確保困難
・教員養成講習が県内で行われない
・教員が入職しても定着率が悪く経験年数の差が大きく中間層が育っていない、有給取得が困難（特に実習中）
・経費が年々増加しており、看護師養成所運営事業補助金とアンバランスになっている
・学生数減少、授業料が安く費用の方がかさんでいる
・養成所一カ所あたりの補助金額が少ない、医師会立の養成所なので卒業後県内の就業者がほとんどであるため県や国から補助金をいただきたい
・PC等の機器の経費増大
・看護学校運営ソフトを導入できると事務作業効率が上がるが一校で購入となると500万円ほどかかるので、全体で導入できれば安価に導入できるのではないか
・3年生になると実習が多くなり就業が困難になり、経済的に学業を継続できなくなる学生が多い　学校としても授業料を高くできず、奨学金制度が今まで以上に手厚くなるとよい
・カリキュラムが増え、到達目標も高く学業と就業の両立が難しい
・低所得者の学生が多く、学生本人が家計支持者となっている人も多く、経済的理由で学業に集中できず休学退学者が多い
・生徒の質の低下
・教員の給料アップ

今後の運営見通し



■現状維持 ■定員削減 ■定員増 ■養成課程の廃止 ■養成課程の変更 ■その他

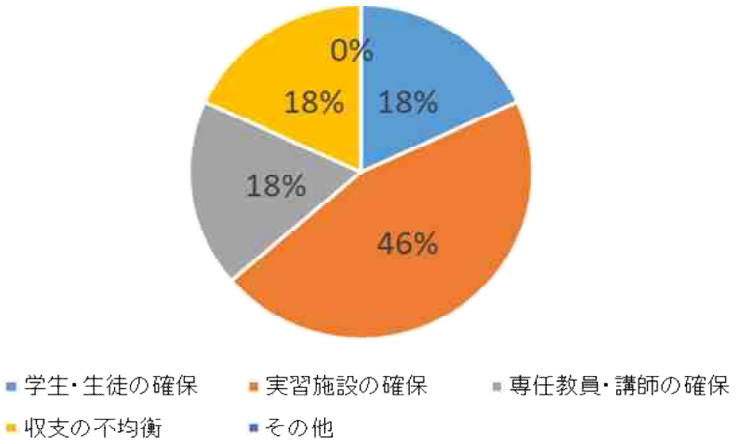
その他
・学生の募集方法
・現状維持は学生数が増えないと難しい
・定員を削減しても収支の不均衡は改善しない
・建物老朽化による改修工事を予定、環境改善により学生数が増えることになればと考えている

XIII. 現状の運営課題と今後の運営見通し

助産師課程の現状の運営課題は、実習施設の確保と5割が回答した。学生・生徒の確保や専任教員・講師の確保が次いでの課題となっている。今後の見通しについては全ての学校が現状維持と回答した。

（助産師課程）

現状の運営課題



今後の運営見通し

その他

特になし

まとめ

1. 入学状況

＜准看護師課程＞

- 准看護師課程の応募者は5年前の半数以下となり、昨年度よりも約2,000人の減であった（P9）。定員充足率は昨年度の85.8％から79.0％に大きく低下し、定員割れが目立つ結果となった（P15）。
- 入学者の最終学歴の割合は、高校既卒が49.2％と最も多く、短大・大卒は合計14.9％であった（P18）。看護師3年課程は高校新卒の割合が7割を超える一方で、准看護師課程は、高校既卒や短大・大卒の方が約6割弱と多く、社会人の学び直しの教育機関としての役割も担っていると言える。

＜看護師2年課程＞

- 看護師2年課程は、応募者も昨年度に比べ450名の減となっている（P10）。平成30年4月より、2年課程通信制の入学要件の緩和（業務経験7年以上）が行われたことから、入学要件緩和の影響に注視する必要がある。

＜看護師3年課程＞

- 看護師3年課程は、2年課程から3年課程へ変更した学校が2校あったため、定員数が昨年より増加しているが、応募者数は減少している（P11）。今年度の倍率は2.3倍であった（P13）。
- 最終学歴の割合は、高校新卒が7割を超え、続いて高校既卒が2割弱となっている。高校新卒が増加傾向にある一方で、短大・大卒者の割合は減少しており、今年度は合計7.9％であった（P20）。

＜助産師課程＞

- 助産師課程は、応募者がやや減少傾向にある（P12）。県外就職率が他課程と比べると高い（P25）。

まとめ

２．卒業状況　（Ｐ２１）

＜准看護師課程＞

・ 准看護師課程の県内（医師会管内＋医師会管外）就業率は42.8％であった。進学（進学＋医療機関に就業しながら進学）が45.2％と高いが、進学者の半数以上は医療機関に就業しており、これを合わせると7割の方が地域医療を支えていることがわかる。

＜看護師2年課程＞

・ 看護師2年課程は、卒業生の82.2％が県内（医師会管内＋医師会管外）に就業している。年度が異なるため単純な比較はできないが、平成30年度の全国の2年課程学校養成所の県内就業率（県内就業者数／卒業者数）は66.8％となっており、医師会立養成所卒業者の県内就業率は高いと言える。

＜看護師3年課程＞

・ 看護師3年課程の県内（医師会管内＋医師会管外）就業率は81％であった。年度が異なるため単純な比較はできないが、平成30年度の全国の3年課程学校養成所の県内就業率（県内就業者数／卒業者数）の平均は78.1％であり、医師会立養成所卒業者の県内就業率は高いと言える。なお、「看護系大学卒業者」全体に占める「看護師として県内に就業」した者の割合（看護師として県内に就業／卒業者数）は52％であり、保健師・助産師等を除く、「看護師として就業」した者の「県内就業」率は61.6％であった。

※ 全国、大学の県内就業率は「看護関係統計資料集」を基に算出

＜助産師課程＞

・ 助産師課程については、他の課程に比べて県外就業率が23.6％と高い。助産師課程は学校養成所が少ないため（参考：平成30年4月現在助産師養成所は42校（大学等を除く））、医師会立の学校養成所は、県外からの学生も含めて貴重な養成の場となっていることがうかがえる。

まとめ

・ 准看護師課程は今年度は6校が募集を停止し、入学者は約6200人と、定員を大きく下回る結果となった。看護師3年課程においては2年課程から3年課程へ変更した新規2校があったため、定員数が昨年より増加しているが、応募者数は減少している。今年度の倍率は2.3倍であった。
医師会立養成所は実習施設や教員の確保が困難となっており、経営面でも非常に厳しい運営を強いられている。医師会立の養成所は県内就業率も高く、地域の看護職員確保に多大な役割を果たしている。もし医師会立の養成所が閉校すれば、地域の看護職員不足は一層深刻なものとなる。厚生労働省や都道府県・市区町村行政による、補助金（地域医療介護総合確保基金）の増額や各種規則の柔軟な運用等、養成の支援が必要である。

・ また看護師2年課程は、今年度は応募者が大きく減少し、定員充足率も下がった。平成30年4月より、看護師2年課程通信制の入学要件である業務経験年数が7年に短縮されており、緩和の影響に注視していく必要がある。全日制・定時制に通学して学ぶのが本来あるべき姿であり、通信制の影響によって、准看護師が卒業後にすぐに進学できる道が閉ざされては本末転倒である。さらなる業務経験年数の短縮を求める声もあるが、慎重な対応が必要である。

まとめ

3. 繰入金・運営課題・運営見通し

＜准看護師課程＞

・ 65.9%のが医師会からの繰入金があると回答。1,000万円以上の繰入金が32.8%と最も高い割合となった。現状の課題については、学生・生徒の確保が32%、専任教員・講師の確保が26%、収支の不均衡が20%、実習施設の確保が19%であった。すべての項目において課題を抱えている学校が多いことがわかる。様々な課題があるものの、今後の見通しについては72%が現状維持すると回答。

＜看護師2年課程＞

・ 56.8%が医師会からの繰入金があると回答。1,000万円以上の繰入金が26.2%と最も高い割合となった。現状の運営課題については、学生・生徒の確保が33%、専任教員・講師の確保が24%、実習施設の確保が21%、収支の不均衡が18%であった。その他の課題で、准看護師の生徒数が直結するため、准看護師制度の見通しが不透明であるとの声があった。今後の見通しについては63%が現状維持すると回答。

＜看護師3年課程＞

・ 54.2%が医師会からの繰入金があると回答。1,000万円以上の繰入金が43.6%と最も高い割合となった。現状の運営課題については、学生・生徒の確保が30%、専任教員・講師の確保が26%、実習施設の確保が25%、収支の不均衡が17%であった。その他の課題で、経費が年々かさんでいるが、授業料も安く経営が苦しいとの声があった。今後の見通しについては83%が現状維持すると回答。改築工事をし、今後の生徒数増加に寄与できればと回答している所もあった。

＜助産師課程＞

・ 60%が医師会からの繰入金があると回答しているが、他の過程に比べて、金額は多くない。現状の運営課題については、実習施設の確保が46%、学生・生徒の確保・専任教員・講師の確保・収支の不均衡は18%であった。今後の運営見通しについては100%が現状維持と回答。

まとめ

・ 全課程ともに5～6割が医師会からの繰入金があると回答。金額については、准看護師課程・看護師2年課程・看護師3年課程は1,000万円以上の割合が最多であり、養成所運営にかかる医師会への負担が大きいことがわかる。助産師においては他の課程と比べると多くはなく100万円未満の回答が最多であった。今後、医師会の負担が益々増加することになると運営継続が厳しくなる。厚生労働省や都道府県・市区町村行政による、基金等の活用、養成の支援がさらに必要である。

・ 全課程において今後の応募者確保と実習施設の確保について運営上の不安を抱えている。
様々な現状の課題があると回答はしているが、現状維持と回答したところがどの課程も6割以上であった。学校独自で、現状を変えていくことは容易ではなく、今後引き続き医師会と共に国、都道府県に支援をしていただけるよう働きかけをしていき、地域医療を支える看護系人材を国民と一緒になって養成していくことが重要である。

参　考

看護系大学、看護師・准看護師養成所の入学状況の推移

看護系大学

	学校養成所数	1学年定員	応募者	受験者	合格者	入学者	倍率(応募者/定員)
2012年4月	211	16975	107265	98054	29277	18569	6.3
2013年4月	218	17878	118098	108708	31531	19376	6.6
2014年4月	234	19674	127152	116275	36289	21223	6.5
2015年4月	250	21034	127632	116903	39861	22512	6.1
2016年4月	256	21619	131868	120796	41164	23106	6.1
2017年4月	267	22656	137438	126497	43171	24007	6.1
2018年4月	280	23840	148577	136415	45558	25048	6.2
増減	69	6865					

3年課程養成所

	学校養成所数	1学年定員	応募者	受験者	合格者	入学者	倍率(応募者/定員)
2012年4月	522	25741	114839	108268	34724	26029	4.5
2013年4月	528	26271	114604	108012	35819	26590	4.4
2014年4月	537	26957	100572	94922	36277	26767	3.7
2015年4月	547	27874	92248	87217	37452	27595	3.3
2016年4月	548	28281	83118	78459	37264	27694	2.9
2017年4月	554	28907	82874	78659	37875	28434	2.9
2018年4月	558	28802	76935	73107	36901	27963	2.7
増減	36	3061					

2年課程養成所

高校専攻科含む

	学校養成所数	1学年定員	応募者	受験者	合格者	入学者	倍率(応募者/定員)
2012年4月	203	11480	13787	13506	10735	10080	1.2
2013年4月	191	11215	13889	13547	10706	10039	1.2
2014年4月	184	10715	13330	13077	10143	9514	1.2
2015年4月	179	10290	12569	12319	9378	8803	1.2
2016年4月	176	9765	11240	10974	8643	8190	1.2
2017年4月	167	9640	10369	10170	8532	8035	1.1
2018年4月	166	9585	10931	10780	8751	8256	1.1
増減	−37	−1895					

准看護師養成所

高校衛生看護科含む

	学校養成所数	1学年定員	応募者	受験者	合格者	入学者	倍率(応募者/定員)
2012年4月	249	11427	34740	33273	12908	11107	3.0
2013年4月	243	11055	32258	30969	12480	10742	2.9
2014年4月	238	10785	29029	27833	11924	10299	2.7
2015年4月	234	10697	25516	24358	11868	10199	2.4
2016年4月	234	10567	22543	21501	11473	9669	2.1
2017年4月	231	10163	19556	18836	10727	9143	1.9
2018年4月	228	10021	16887	16132	10048	8517	1.7
増減	−21	−1406					

出典:看護関係統計資料集